

大分県庁舎本館及び新館の電力調達に係る仕様書

1 対象建物及び需要場所

- (1) 対象建物 別紙「対象施設の情報一覧」のとおり
- (2) 需要場所 別紙「対象施設の情報一覧」のとおり

2 用途 別紙「対象施設の情報一覧」のとおり

3 仕 様

(1) 電力供給方式、標準電圧、標準周波数、受電方式等

- ア 電力供給方式
 - イ 標準電圧（常時電力）
 - ウ 計量電圧（常時電力）
 - エ 標準周波数
 - オ 受電方式
 - カ 蓄熱設備
 - キ 自家発電機
 - ク 余剰電力の売却
- 別紙「対象施設の情報一覧」のとおり

(2) 契約電力及び予定使用電力量

- ア 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいい、
30分最大需要電力計により計測される値が
原則としてこれを超えないものとする。）
 - イ 予定使用電力量
- 別紙「対象施設の情報一覧」
のとおり

(3) 使用期間

令和8年3月1日0時から令和9年2月28日24時まで

ただし、自動検針装置の設置等の事前準備が供給開始日までに完了せず電力供給が期日までにできない場合は、この限りではない。

(4) 電力量の検針

- ア 自動検針装置
- イ 電力量計の仕様

(5) 需給地点

(6) 電気工作物の財産分界点

(7) 保安上の責任分界点

別紙「対象施設の情報一覧」のとおり

(8) 単位及び端数処理

料金その他を計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおりとする。

- ア 契約電力及び最大需要電力の単位は、1 キロワットとし、その端数は小数点以下第1位を四捨五入する。
- イ 使用電力量の単位は、1 キロワット時とし、その端数は小数点以下第1位を四捨五入する。
- ウ 力率の単位は、1 パーセントとし、その端数は小数点以下第1位を四捨五入する。
- エ 料金その他の計算における合計金額の単位は、1 円とし、その端数は切り捨てる。

(9) その他

- ア 力率は、契約期間中は100%を保持する予定。入札額算定時も、力率100%で算定してよい。
- イ 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、需要場所を管内とする旧一般電気事業者が定める標準供給条件又は、託送供給約款による。
- ウ 入札価格の算定にあたっては、燃料費等調整額及び電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金は考慮しないこと。
- エ 料金の請求は、別紙対象施設一覧に定める施設ごとに分けて行うこと。(請求書の送付先は別途指定する。)
- オ 料金の請求は、web ページで請求書を発行する形式でも可能。ただし、請求内容(利用期間、振替日)を表示すること。
- カ 用度管財課から依頼があった際は、月ごとの各庁舎の消費電力量、最大電力を一覧表にして提出すること。
- キ 本契約の第12条(4)の正当な理由には、高圧業務用電力から低圧業務用電力に変更する庁舎に伴う電力供給の解約手続きが含まれることとする。
また、解約に伴う経費の負担及び本契約書の変更は行わない。
- ク この仕様書に定めのない事項については、別途、協議の上決定する。

【仕様書別紙】

対象施設の情報一覧

1. 基本情報

番号	対象建物	需要場所	用途	電力供給方式	標準電圧(V)	計量電圧(V)	標準周波数(Hz)	受電方式	蓄熱設備の有無と容量	自家発電機の有無と容量	余剰電力の売却の有無と売却先	自動検針装置の有無	電力量計の仕様	需給地点	電気工作物の財産分界点	保安上の責任分界点
1	県庁舎本館新館	大分市大手町3-1-1	官公署(庁舎)	交流3相3線式	22000	6600	60	3回線スポットネットワーク方式	無	有 太陽光(常用) 20kW H12年設置	無	有	電力需給用複合計器	大分県の受電書に九州電力株式会社が設置した22kVケーブル可とう導体端子と大分県の母線との接続点とする。	同左	同左

2. 契約電力(最大電力)

番号	対象建物	需要場所	契約種別	最大需要電力(kW)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	県庁舎本館新館	大分市大手町3-1-1	特別高圧	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900	1900

※契約電力は最大需要電力(1900kw)が適用される。

3. 予定使用電力量(令和6年3月～令和7年2月実績)

番号	対象建物	需要場所	契約種別	使用電力量(kWh)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	夏季計 (7月～9月)	その他季計 (夏季以外)
1	県庁舎本館新館	大分市大手町3-1-1	特別高圧	5,075,030	374,063	338,822	348,241	411,922	542,859	590,254	509,450	397,898	344,073	409,890	416,928	390,630	1,642,563	3,432,467

※計量日:当月1日0時とする

4. 蓄熱電力量(令和6年3月～令和7年2月実績)

	対象建物	需要場所	契約種別	使用電力量(kWh)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	該当無し															

5. 負荷率(令和6年3月～令和7年2月実績)

番号	対象建物	需要場所	契約種別	最大需要電力(kW) ①	年間使用電力量(kWh)②	負荷率(%) 【②÷①÷8,760】
1	県庁舎本館新館	大分市大手町3-1-1	特別高圧	1900	5,075,030	30.49%

※予定使用電力量は、令和6年3月～令和7年2月実績と同程度と見込む。

※負荷率＝年間使用電力量(kWh)÷最大需要電力(kW)÷8,760(年間時間数＝365日×24時間)×100 小数点第3位を四捨五入

電力用語である負荷率は、ある期間における平均電力と最大電力の比を示したもの。年間を基準として月ごと(季節ごと)の格差(変動の大きさ)を把握したり、1日を基準として昼夜の格差を把握するために使う。